

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「完全幸福魔法少女～夏と痴漢と死神と～」

テーマ:「笑顔なのに毒舌で実は本心では笑っていない美少女」

キャラクター

50

ストーリー

40

テーマ(設定)

55

文章力

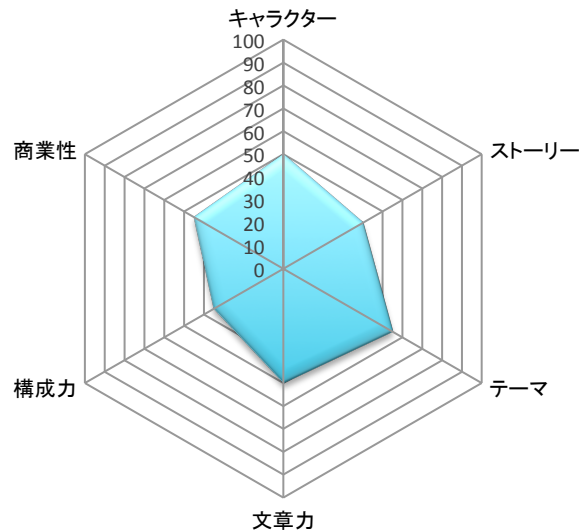
50

構成力

35

商業性

45



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- 物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- 伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・某ポカロ曲と某虚淵作品を足して二で割ったような題名には一周回って逆に興味をひかれてしまった。
 ・死神の存在や性質を物語の前半から示唆しておくべきだった。現在のままだと死神がストーリーラインを進めるためだけにでてきたいわばアイテムのような印象を受ける。よって前半から死神について触れて伏線扱いとしておけば、後半の唐突な登場も伏線回収という形で不自然さをうまく消すことができたのではないかな。
 ・恐らく作者様が一番自覚していることであると思われるが、キャラ数が多過ぎる。どれも個性的で可愛い(個人的には金剛院のぶっとんだ感じが一番良かった)が、短編内でこの人数では一人あたりの魅力が薄れてしまうため、多くて三人程度が望ましい。
 ・さすがに「★」に逃げ過ぎている感がある。★が表現するキラッとしたニュアンスは小説として本来文字・文章で表現されるべきであり、あえてこのような手法を避けて文章でどこまで頑張れるかというチャレンジを行った方が結果的に表現力や文章力の急上昇に繋がる気がした。

合計加点ポイント 0

総得点: 275 / 600

B方式総合得点: 12604 点